

# 藤久保地域拠点とは

藤久保小学校及び周辺公共施設の更新を契機に、施設の集約化・複合化を検討します。



～集い・学び・育つ～  
輝く未来創造拠点

- ・公共施設等の複合化と安心安全で環境に優しい**賑わい・交流の場**の創出
- ・機能連携による**教育、子育て、芸術文化、健康・福祉**のさらなる充実
- ・民間活力を導入した**地域の活性化と財政負担軽減**の両立

## 導入する公共施設

- ①藤久保小学校
- ②藤久保児童館
- ③学童保育室(藤久保第1・第2)
- ④子育て支援センター
- ⑤ファミリーサポートセンター
- ⑥図書館
- ⑦藤久保公民館
- ⑧保健センター
- ⑨藤久保出張所

## 公共施設以外で導入を検討している施設

- ①ふれあいセンター
- ②商工会館
- ③社会福祉協議会
- ④民間施設

# どんな施設になるの？

施設を集約化・複合化することで新たな価値を創出し、町全体のあらたなシンボルとなる複合化施設を目指します。

## 知識の拠点

図書館を中心に  
住民の知識の拠点に



## 交流の拠点

様々な世代が集まる  
交流の拠点に



## 地域の拠点

学校を中心に  
コミュニティ・防災の  
地域拠点に



# 未来 創造拠点

## 支援の拠点

子育て、健康、福祉、ビジネス  
など住民を支援する拠点に



## 活動の拠点

住民、活動、団体が  
成長していく拠点に



## 情報の拠点

様々な情報を発信・収集  
する拠点に

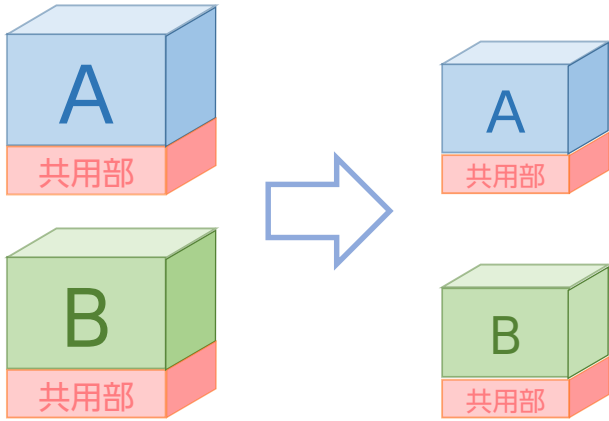


# なぜ複合化するの？

今後、公共施設を更新する場合、将来的な財政状況や、社会構造(人口減少)に対応するため、**縮小化**が必要となります。

※町の公共施設マネジメントでも**15%の床面積削減目標**があります。

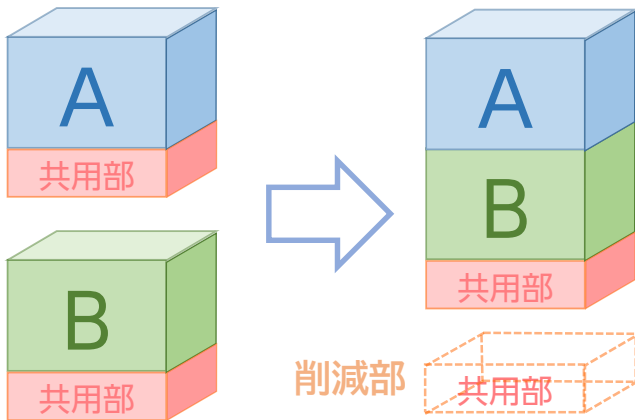
## ◎各施設を単純に更新すると



各施設を一様に縮小化するので、サービス維持の困難が予想されます。

解決するには

## ◎各施設を複合化して更新した場合



重複する共有部が削減できるため、サービスを維持し、新たな可能性が広がります。

共用部とは、エントランスや廊下、トイレなど、各施設が共通的に保有している共用可能な部分のことです。

## 複合化により得られる相乗効果は…(先進事例『えんぱーく』)

図書館



子育て支援センター



ちょこっと理科読

テーマにそった本の読み聞かせや理科実験を通じて、こどもの理科や化学への興味を育むイベント

図書館



商工会議所



ビジネス情報相談会

専門

相談員がビジネス相談に応じ、図書館司書が必要な資料の紹介や情報調査をサポート

## Q なぜ藤久保拠点整備事業が始まったのか？

**A** 藤久保小学校が更新時期を迎え、周辺の公共施設についても、今後随時更新時期を迎えることから、総合計画、公共施設マネジメント基本計画改訂版(公共施設等総合管理計画)の方針に沿って、藤久保地域拠点ゾーン全体の整備事業の検討を開始しました。

## Q いつできるの？

**A** 現在、2年間をかけて基本計画策定、PFI等※の可能性調査を実施しています。今後、事業手法の検討を経て事業者の選定、契約、設計・工事着手に進んでいく予定です。事業手法にもよりますが2025～2026の供用開始を目指しています。

※PFI等・・・民間事業者の資金やノウハウを公共事業に活かす事業手法

## 検討経過

平成24年度	公共施設マネジメント策定準備 藤久保地域拠点ゾーンにおける公共施設の方向性について検討(WT)
平成25年度	公共施設マネジメント基本方針
平成26年度	公共施設マネジメント基本計画 公共施設マネジメント基本計画改訂版 (公共施設等総合管理計画)
平成27年度	藤久保公共施設ワークショップ開催
平成28年度	まちづくり懇話会 (平成28・29・30・31年度 意見聴取)
平成30年度	藤久保地域拠点施設基本構想策定
令和元年度 ～2年度	藤久保地域拠点施設基本計画策定予定 検討会議・検討委員会・検討部会設置 利用者団体ヒアリング実施 PFI等可能性調査実施予定

### 今年度の主な取り組み

6月	まちづくり懇話会 14行政区 『藤久保地域拠点施設について』
7月	三芳町議会 全員協議会 説明
8月	利用者団体ヒアリング 8団体 意見収集箱設置
11月	先進事例視察 『塩尻市市民交流センター えんぱーく』